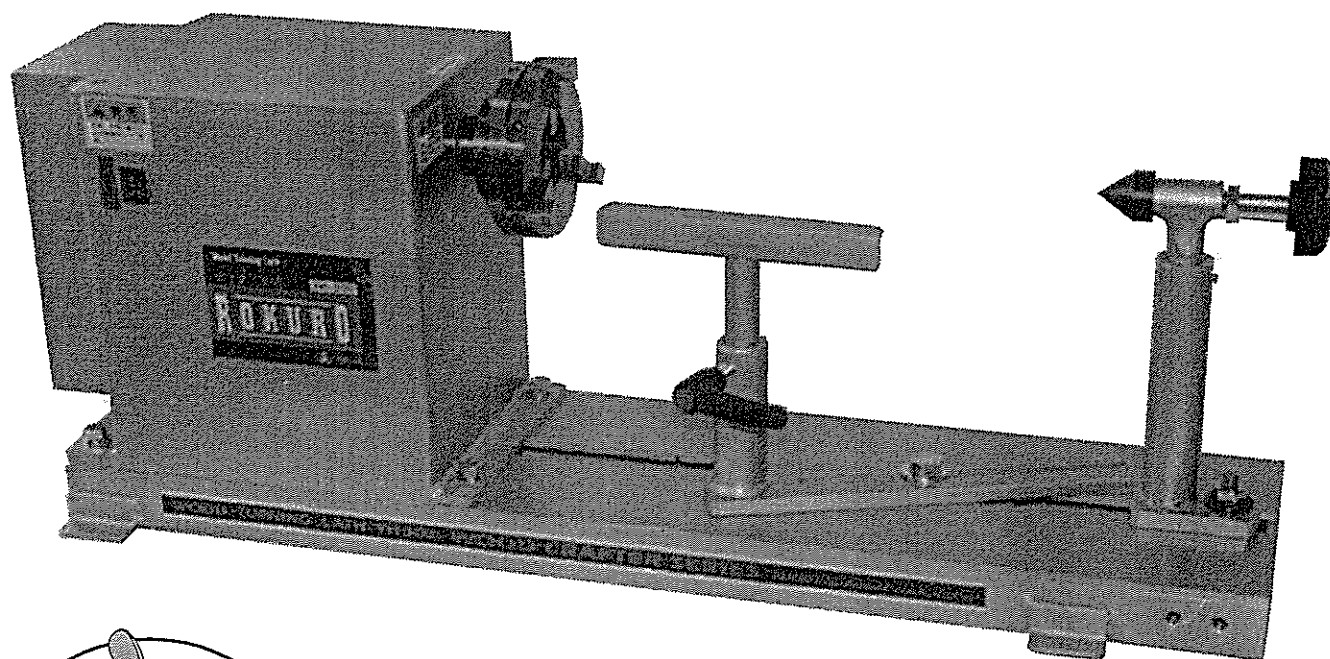


卓上型木工旋盤 YH-300

ROKURO

取扱い説明書

- ご使用前に必ずこの取扱い説明書を最後までよくお読みください。また、この取扱い説明書は大切にお手元に保管してください。



商品番号
491707



WOOD CRAFTERS SERIES



Fujiwara
Sangyo Co., Ltd.
HYOGO MIKI

このたびは卓上型木工旋盤ROKUROYH-300をお買上げいただきありがとうございます。

安全に能率良くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分にご理解の上で正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「⚠警告」、「⚠注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

警告

- 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

- 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「⚠警告」・「⚠注意」以外の製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

必ずお守りいただくことを、
説明しています。



安全上のご注意

必ずお守りください

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、下記に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- 転倒事故を防止する為、機械周辺の床には物を置かないでください。
- 機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにしてください。
- 水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。

③ 電気工事は自分で行わないでください。

- 電源の誤配線による重傷事故をさける為に、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行ってください。

④ 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 無理して使用せず作業に合った機械を使用してください。

- 安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 手袋は回転部に巻込まれる恐れがありますので絶対に使用しないでください。
- 室外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

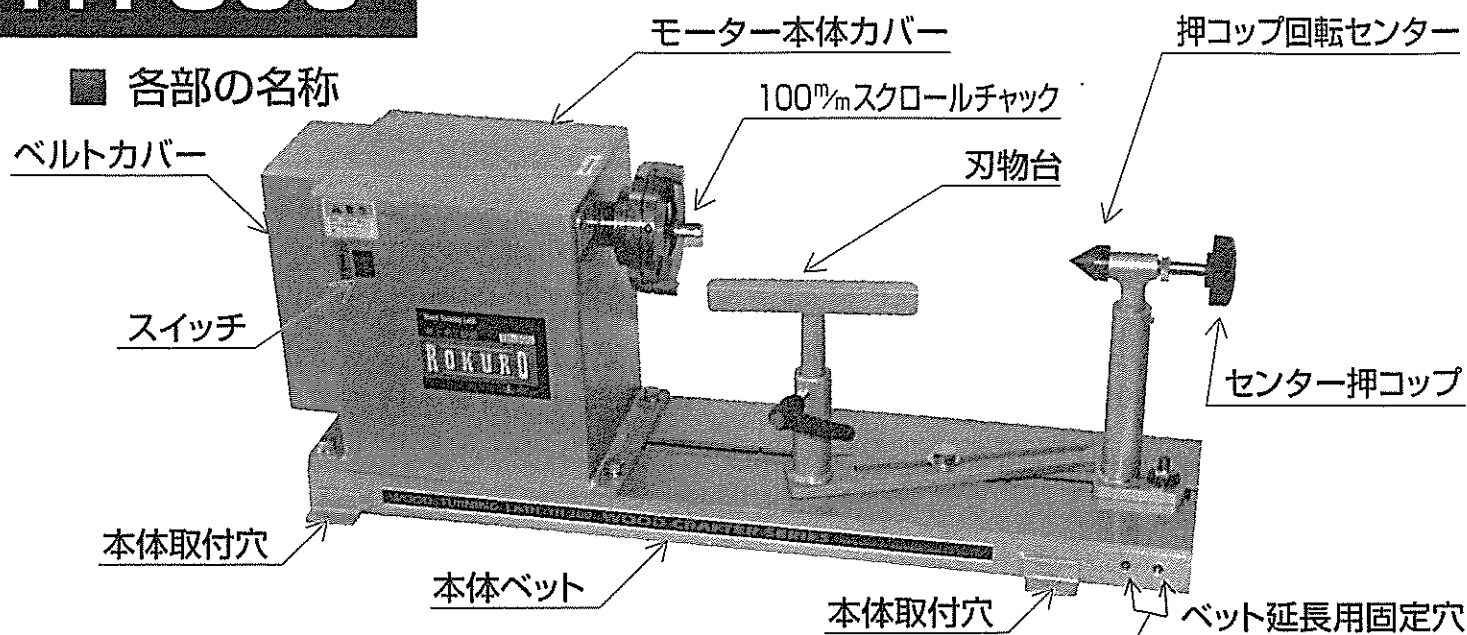
⑦ 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

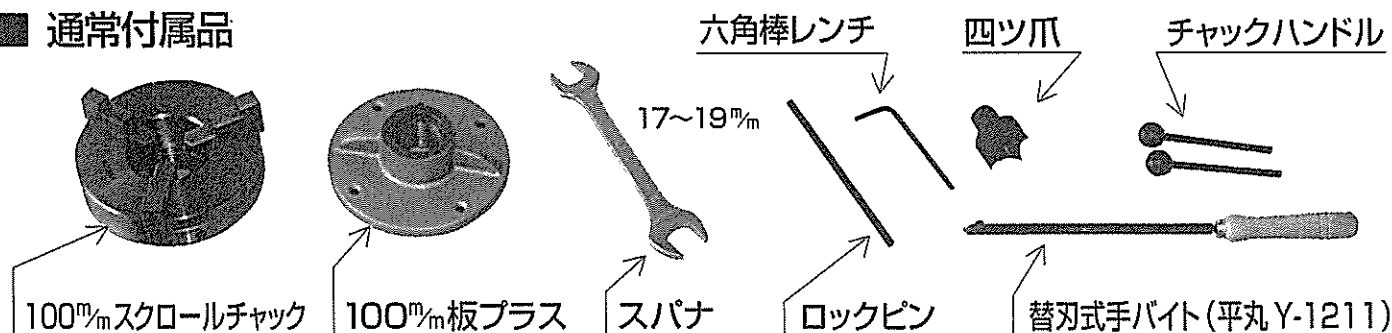
- ⑧ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑨ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑩ 機械は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
 - 機械の可動部分との接触による重傷事故を避ける為に、部品交換の際には機械のスイッチを切りかつプラグを外してください。
- ⑪ 次の場合は、機械のスイッチを切りかつプラグを電源から抜いてください。
- 使用しない、または保守、点検、修理をする場合。
 - 付属品を交換する場合。
 - 清掃する場合。
 - 機械の故障、異状に対処する場合。
 - その他危険が予想される場合。
- ⑫ 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
- ⑬ 不意な始動は避けてください。
- プラグを電源に接続する前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑭ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーや回転軸などに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ⑮ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

卓上型木工旋盤 YH-300

■ 各部の名称



■ 通常付属品



■ 用途

木、竹材料などの旋盤加工に（金属は加工できません。）
茶托、菓子器、花びん、サラダボール、小物入れ、釣ウキ、他製作に。

■ 仕様

使用電源	電圧100ボルト(V) 単相交流50/60ヘルツ(Hz) 共用	
電源周波数	50Hz	60Hz
消費電力	368W	333W
電流	5.5A	4.8A
主軸回転数 2段ベルト掛換	高速 1.060rpm	高速 1.280rpm
	低速 547rpm	低速 660rpm
定格時間	連続	
機体寸法	220(幅)×700(長さ)×270(高さ)	
機体重量	約32Kg	
コード	約2.3m	
最大加工寸法	径 300mm 長さ 300mm	
付属部品	100mm板プラス・六角棒レンチ・スパナ・主軸四ツ爪・ ロックピン・100mmスクロールチャック(Y-2101) 替刃式手バイト(平丸 Y-1211)	

⚠ 注意（取扱説明書をよくお読みのうえ安全にご使用下さい。）

■使用中は必ず保護メガネをご使用ください。

■手袋等危険ですので使用しないでください。

商品番号 491707

卓上型木工旋盤 YH-300

卓上型木工旋盤としてのご使用上の注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、YH-300 (卓上型木工旋盤) として、さらに下記に述べる注意事項を守ってください。

▲ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護メガネを着用してください。また、切削、研削粉塵を吸い込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
3. 加工材料にヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、材料が破損し、けがの原因になります。
4. 水、研磨液などは使用しないでください。感電事故のもとになります。
5. 使用中は、加工材料及び駆動部に手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。
6. スイッチを入れたまま放置しないでください。事故の原因になります。
7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店またはメーカーまで点検、修理を依頼してください。(有償修理)そのまま使用していると、事故の原因になります。
8. 誤って落したり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形などがなかったことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

▲ 注 意

1. 加工材料は、取扱い説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい加工材料を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、加工材料の露出部から一時身体を避けてください。
加工材料が破裂したとき、けがの原因になります。
3. コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにしてください。

▲ 警 告

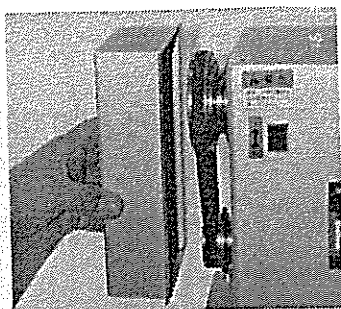
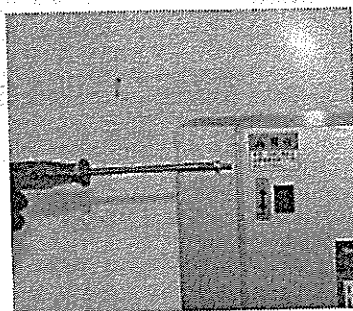
- ・作業に入る前に必ず試運転をしてください。
- ・スイッチを入れる前にはスパナ、ロックピンなどの工具を必ず取外してください。

◎加工材料の大小によって回転数を変えてください。

本機は高速、低速 二段ベルト掛換式です。直径180㎜以上の材料の場合は低速に直径180㎜以下の場合は高速回転にしてください。

● ベルト掛換方法

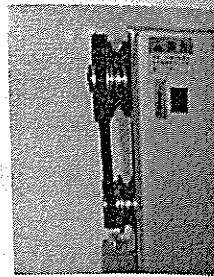
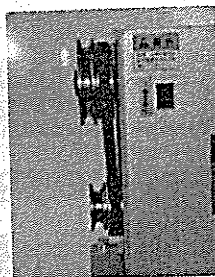
写真の様にベルトカバーの取り付けビス4ヶ所のネジを外して下さい。



ベルトの掛換えをして下さい。

【高速】内側

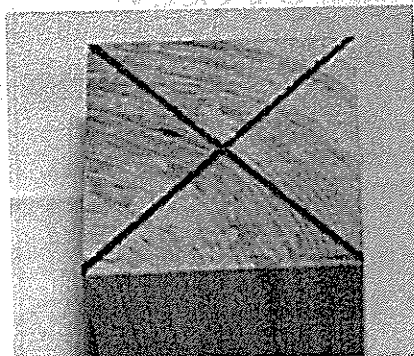
【低速】外側



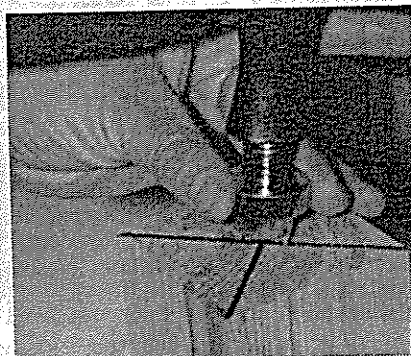
① 加工材料の取付け (特徴) 太鼓のバチ、テーブルのアシ

押コップ回転センター使用方法

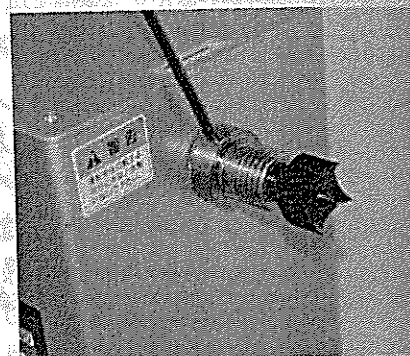
① 素材のセンター出し下部の図のように対角線を引いて木の中心を出して下さい。



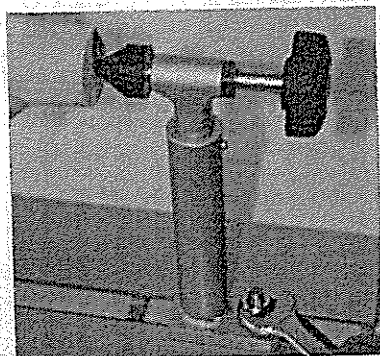
② 通常附属四ツ爪のセンターを素材の中心に当て軽く打ち込んでください。反対側も同じ様にしてください。



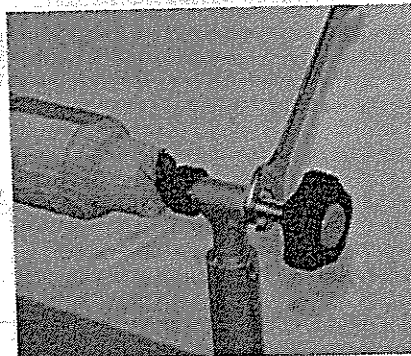
③ ロックピンを主軸に差し込み付属の四ツ爪 (右ネジ) を右へまわして入れてください。



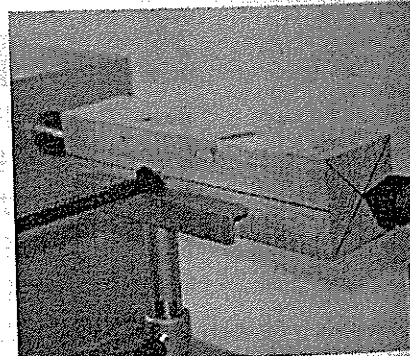
④ センター押コップを前後し、材料を軽くセットして下部17%ネジを附属スパナで止めてください。



⑤ ハンドルを右にまわして素材を締めつけてください。回転センターのゆるみ止の為19%のナットをしめる。



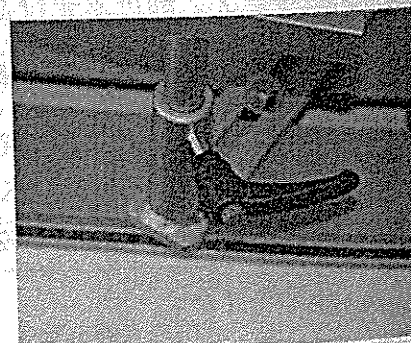
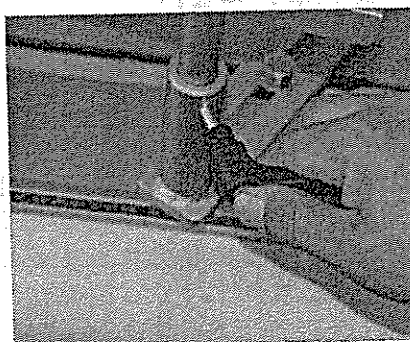
⑥ 刃物台の高さ
下部図のように加工材料のセンターが刃物台の高さの目安です。



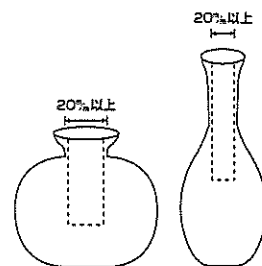
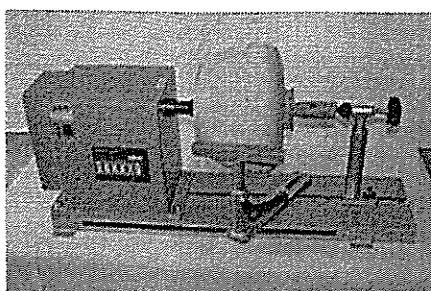
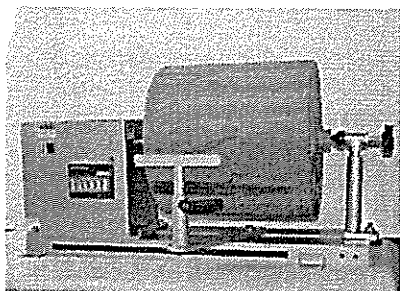
△ 注意 押しコップを強く締めつけ過ぎますと、押しコップが破損・変形する恐れがありますので、軽くセットして下さい。

● 刃物固定用ハンドルの操作方法

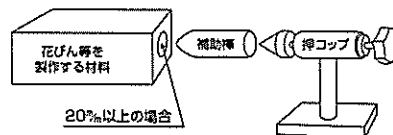
写真の様に赤いツマミを親指で押し、黒いハンドルを手前に引き、よい角度を出してはなすと固定します。



押コップ回転センター使用作品(花びん等)



花びん等の穴径が20%以上の場合



最初にドリル等の使用でセンターに穴あけして下さい。穴径が20%以下の場合は直接押コップ回転センターで押して下さい。

20%以上の穴の場合は補助棒を作して下さい。(穴径にあった丸棒を少し長めに作って下さい)

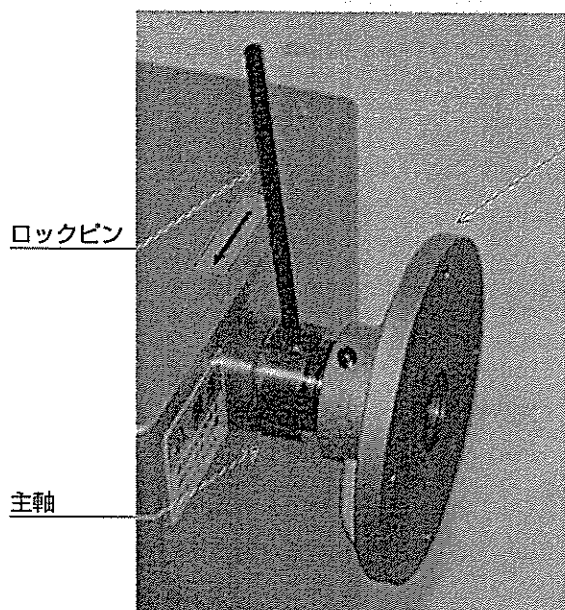
② 加工材料の取付け (特徴) 加工材料を直接ビス止めする為、よりしっかりと取付け板プラスの使用法が出来ます。

① 通常付属100%板プラス

板プラスは右ネジです。主軸にロックピンを差し込み板プラスを右へまわして締めてください。

② 板プラスが主軸に入った所で6%のネジを締めてください。

(ゆるまない様にしっかりと締めつける)



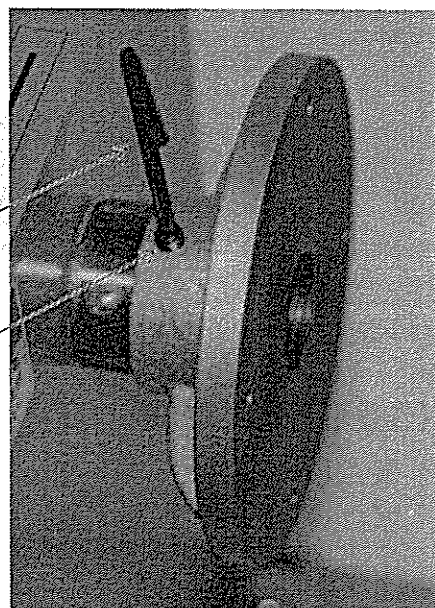
100%板プラス

ロックピン

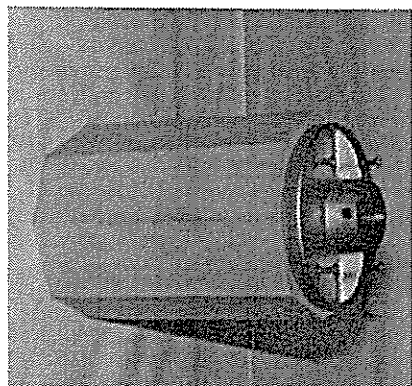
主軸

六角棒レンチ

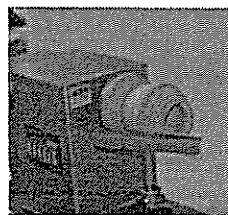
六角棒レンチでゆるみ止ネジを締めてください



丸材で長さのある場合、板プラスを加工材料に直接ビス止めする(木工ビス使用)



《作品例》茶入の作り方



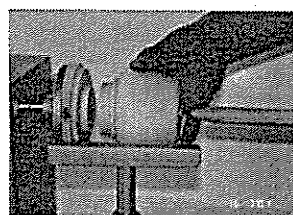
本体荒削り 中仕上げ



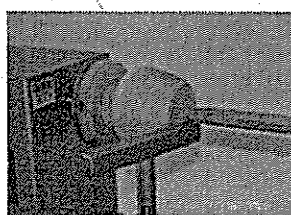
フタ(キャップ) 仕上



本体にフタをはめ込み補助棒で押しフタ上部を仕上げる



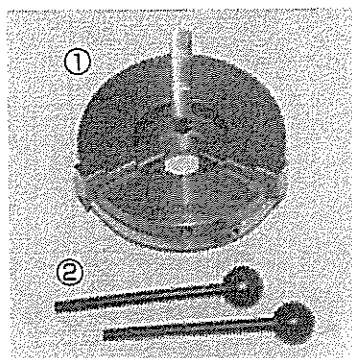
本体内径に合う補助治具を作製し はめ込む



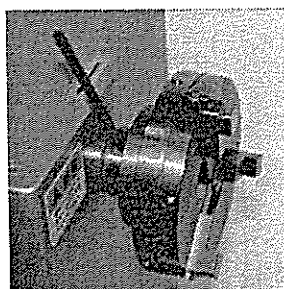
最終底削り

③ 加工材料の取付け

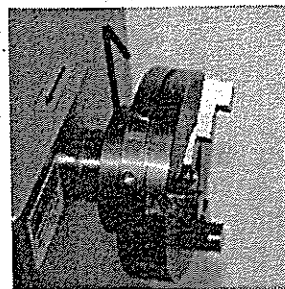
100 ϕ スクロールチャック使用方法



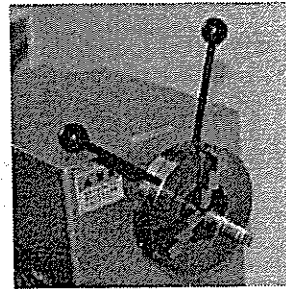
1. 100 ϕ スクロールチャック (Y-2101)
2. チャックレバー



チャックは右ネジです。主軸にロックピンを差し込みチャックを右にまわして締めて下さい。

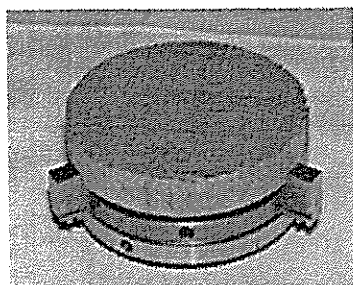


チャックが主軸に入った所でゆるみ止ネジを締めて下さい。ゆるまない様しっかりと止めて下さい。

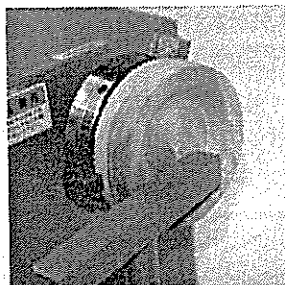


<品物脱着方法>
写真の様にレバーをチャック外径の穴ニケ所に入れて脱着して下さい。

《作品例 -1》茶托の作り方



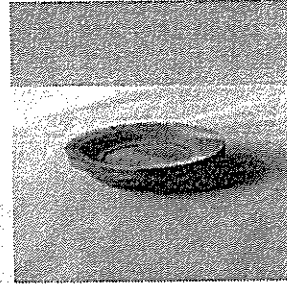
2ヶ所の穴にハンドルを入れてチャッキングして下さい。(直径120 ϕ までつかめます)



茶托の内面、外周一部をまず削って下さい。



反対に取付けて裏面の加工をして下さい。



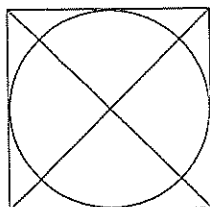
出来上がり。

《作品例 -2》お盆の作り方

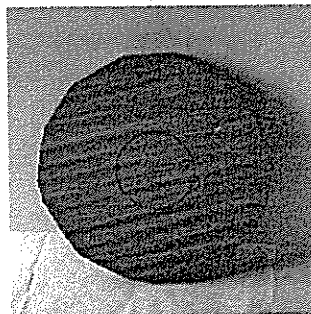
使用バイト

(Y-1211 付属品
F-1214 中仕上
F-5524 剣

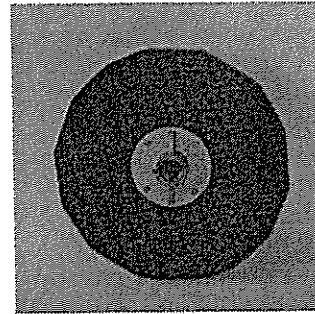
例: 300 ϕ お盆の場合
305 $\times$ 305 $\times$ 25素材



バンドソー等で丸に切して下さい。



センターに100 ϕ の丸を書いて下さい。



付属の板プラスを取付けて下さい。木工ビス4ヶ所

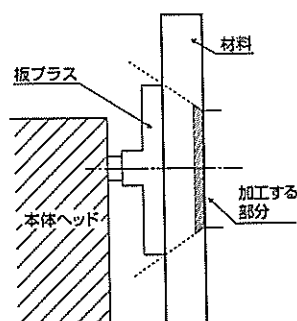


本機に取付け

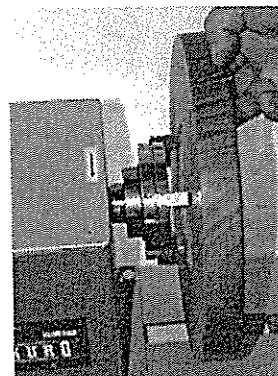


裏面、外周加工して下さい。

【裏面加工注意】



内径寸法 90 ϕ ~140 ϕ
深 さ 5 ϕ ~8 ϕ
少しテーパを付けて下さい。

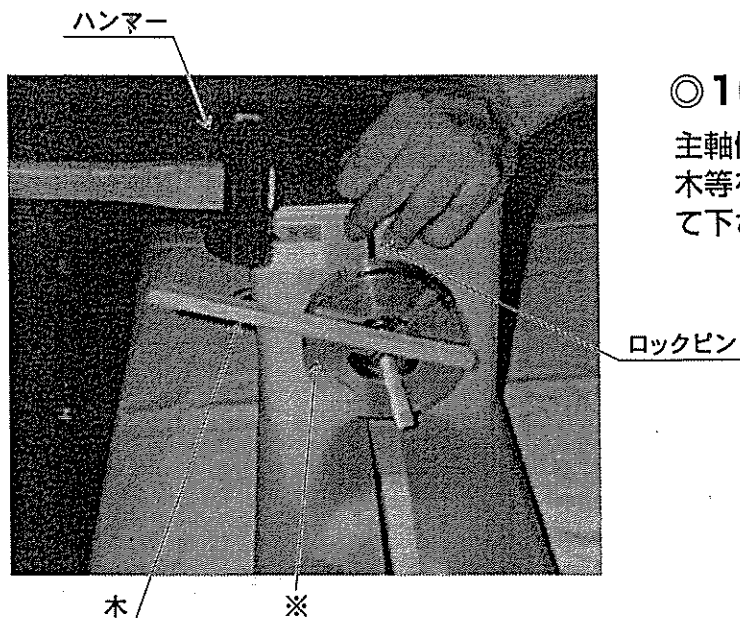


チャック内張して締めて下さい。チャックの爪の外周は少しテーパになっています。(とび防止の為)



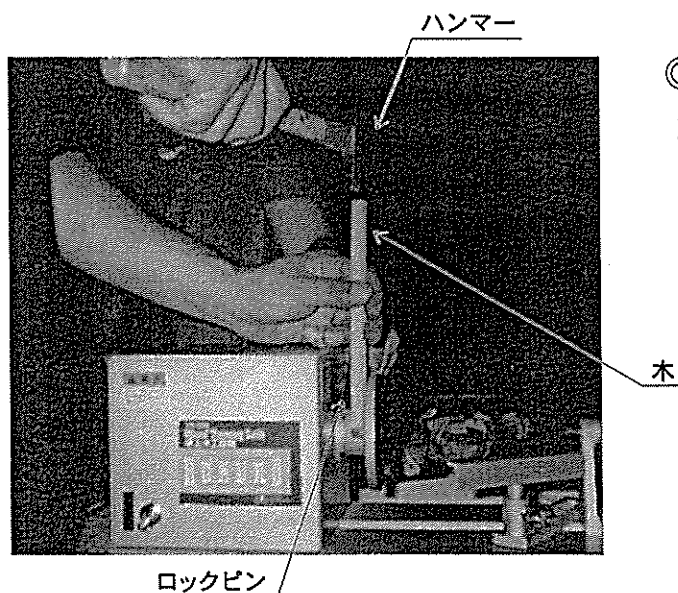
注意

100 $\frac{1}{m}$ スクロールチャック・100 $\frac{1}{m}$ 板プラスが主軸から取れにくくなった場合は下記の様にさせていただくと取れやすくなります。作業前は電源コードを抜いてゆるみ止ネジが十分ゆるんでいることを確認の上(不十分ですと主軸ネジをつぶす恐れがあります)作業をを行って下さい。



◎100 $\frac{1}{m}$ スクロールチャックの場合

主軸側にロックピンを差し込み、※印の部分に木等をあててハンマーでたたいてショックを与えて下さい。



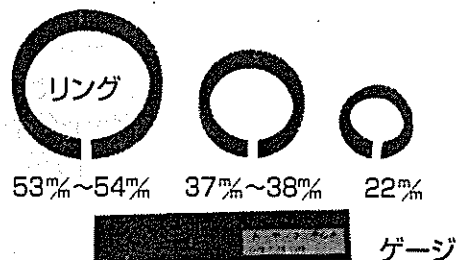
◎100 $\frac{1}{m}$ 板プラスの場合

主軸側にロックピンを差し込み、チャックの爪に(図)の様に木等をかけ、ハンマーでたたいてショックを与えて下さい。

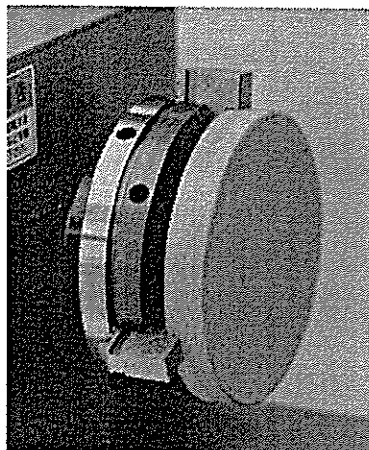
別売部品と使用方法

(1) リング3本セット (Y-2201)

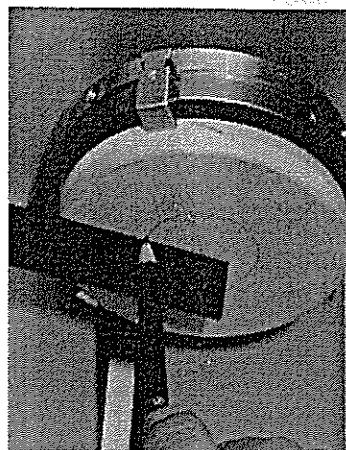
(特徴) 底面段差が1mmあればリング使用
でしっかりとチャッキング出来ます。



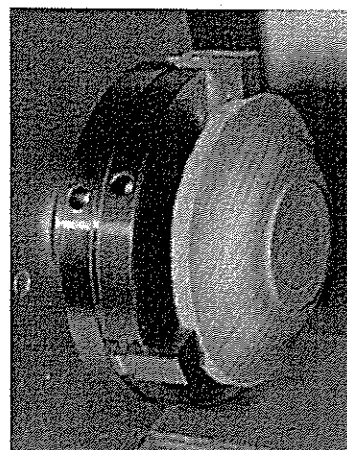
Y-2201
<リング3本セット>



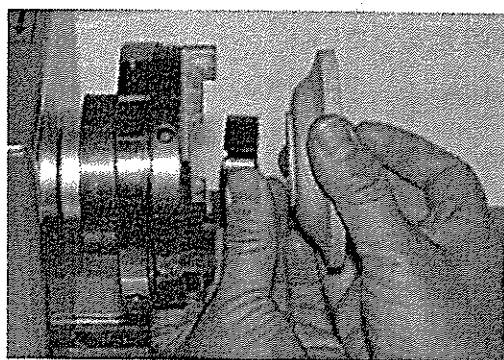
① チャッキングした材料を回転させ、鉛筆等で中心付近に印をつけていってください。(中心点が出てきます) 中心点は点が印として残ります。



② 中心点とゲージの中心点の目印を合わせ 各リングの径に合わせ鉛筆等で円をえがきます。(材料を回転させると円がえがけます) 直径はⓧ-54mm、⓪-38mm、㊦-22mm、となります。



③ 円に添って荒けずりして下さい。時々リングをあててみてすきまができない様に調整して削って下さい。(リングは表裏でサイズが違いますので上手に利用して下さい) ※少し小さくなった場合ⓧ-53mm、⓪-37mm、で合わせて下さい。



④ 材料にリングをはめ込んでからスクロールチャックで固定して下さい。

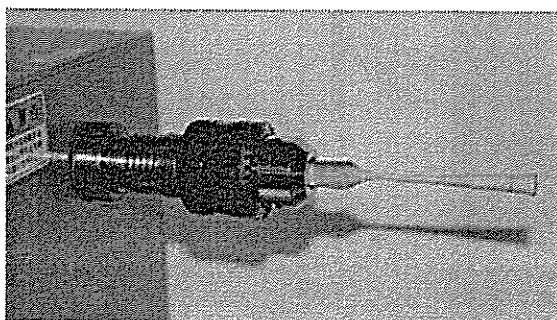
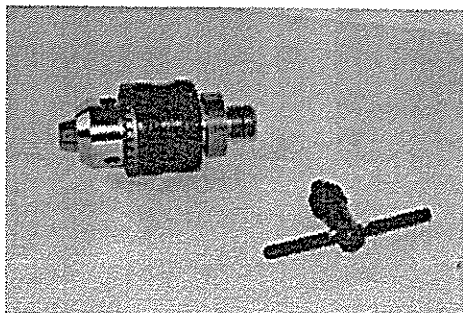


⑤ 茶托等の加工も簡単に出来ます。

(2) 13mmドリルチャック

商品番号 491729

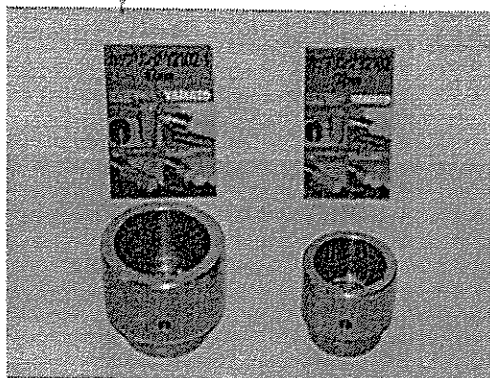
(特徴) 13mm以下の丸棒がしっかりと、とめる事が出来ます。(ウキ、ゴルフのティー等)



別売部品と使用方法

(3) カップリング

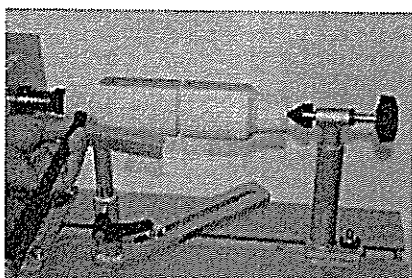
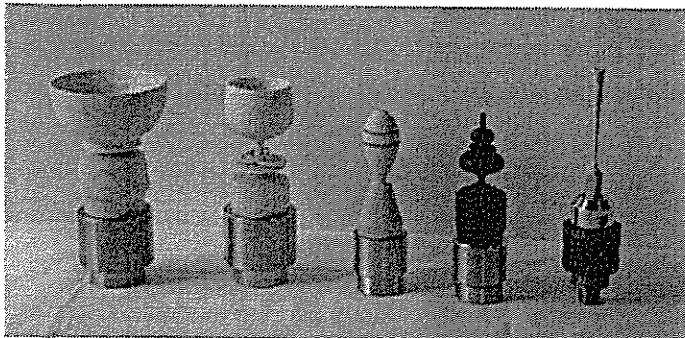
(特徴) 板プラスにビス止出来ない加工材料、やや細目の材料の取付に最適です。



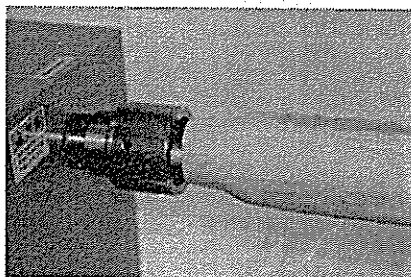
Y-2102-1
内径42mm

Y-2102
内径32mm

《作品例》



カップリング使用の前に両センターでカップの内径に合う様に削って下さい。
(上記写真は2ヶ取りです)



カップリングにたき込む

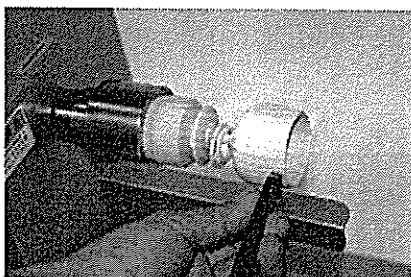
△注意 本機よりカップリングを必ず外した状態でたき込んで下さい。



本機に取付けた状態



上記の様に削って下さい

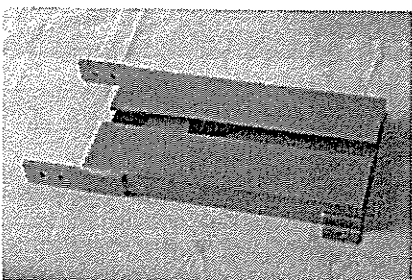


使用バイト

(Y-1211
F-5521
F-5526-2

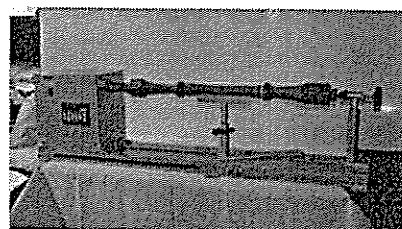
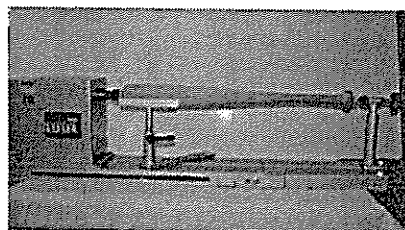
(4) 延長ベット 300mm

(特徴) ベット全長600mmになります。

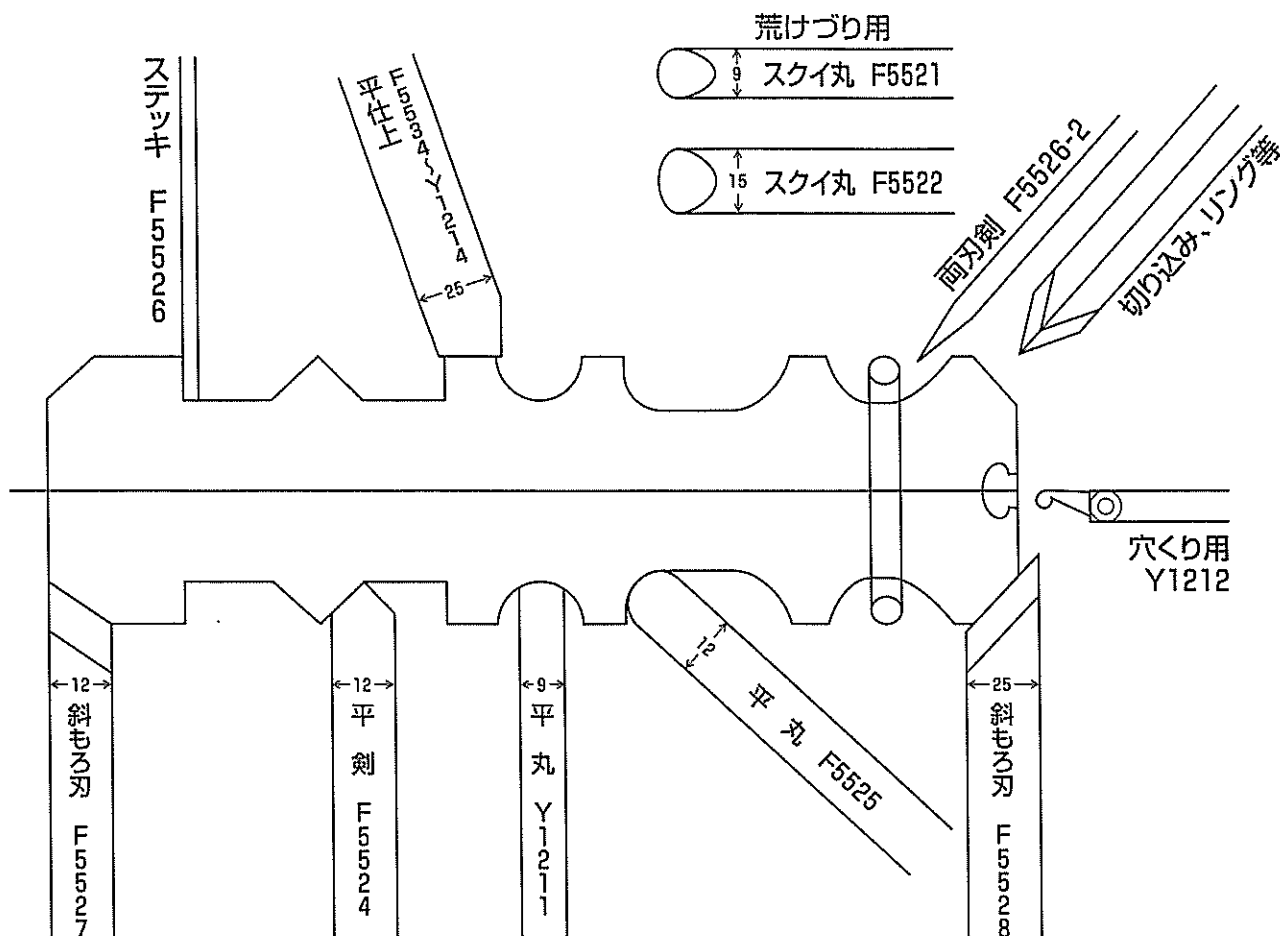


片側ボルト2本で両方取付けて下さい。

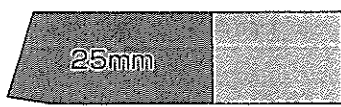
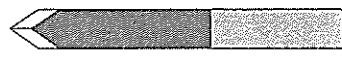
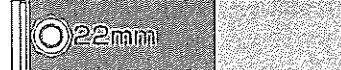
《作品例》



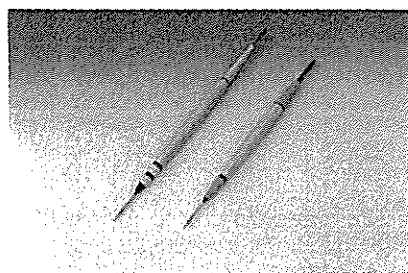
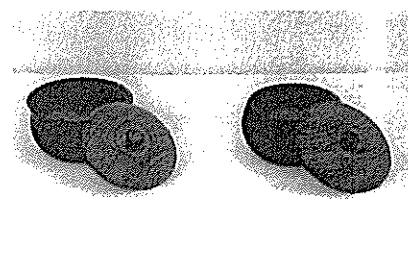
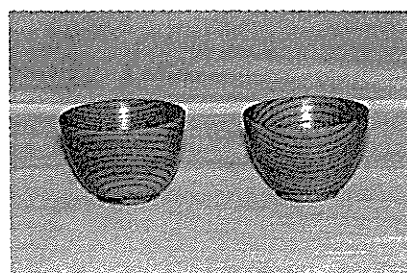
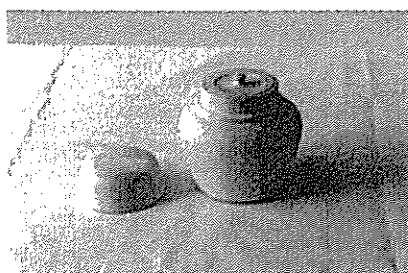
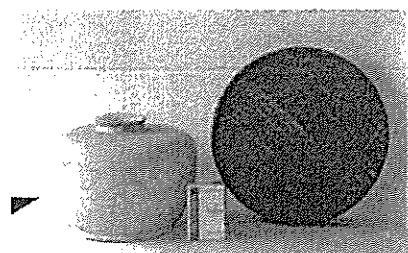
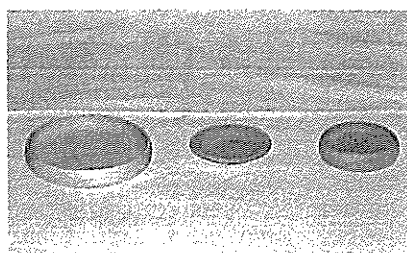
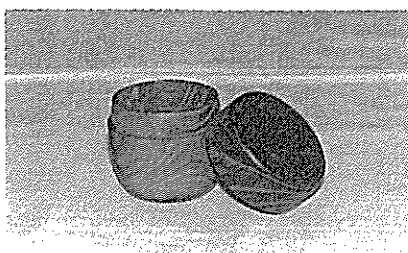
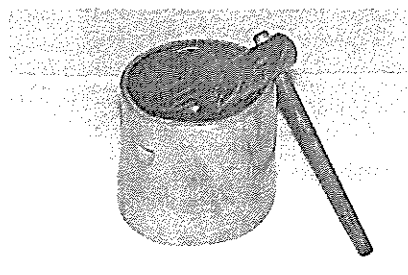
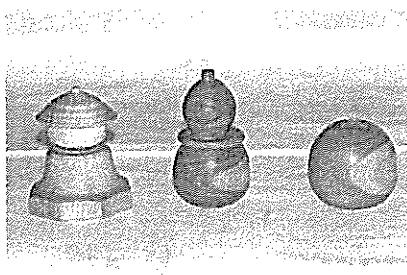
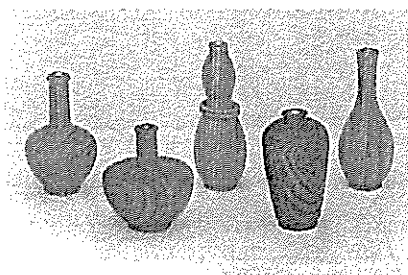
[バイト類の使用例]



[バイト類]

スクイ丸 F5521		斜もろ刃 F5527	
スクイ丸 F5522		斜もろ刃 F5528	
平 剣 F5524		平 仕 上 F5534	
平 丸 F5525		替 刃 式 Y1211 通常附属品	
ステッキ F5526		替 刃 式 Y1212	
両 刃 剣 F5526-2		替 刃 式 Y1213	
		替 刃 式 Y1214	

作品集



保守と点検

- 使用後は、粉塵などを取り除いたのち保管してください。
- 使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいてください。
万一、異常があったときはそのまま放置せず、お買上げの販売店またはメーカーに点検、修理を依頼してください。(有償修理)
- 付属のナイフは乾いた布などで汚れを拭き取り、サビ防止のため、薄くサビ止め油などを塗っておいてください。
- 本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにしてください。
チャック部分には、サビ防止のため薄くサビ止め油などを塗っておいてください。
- 本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり、拭いたりしないでください。
また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり、拭いたりしないでください。
変形、変色の原因となります。
- 保管は小さいお子様の手の届かない、室内の安定したところにしてください。
また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。